

重点戦略課題 ①

芸術・文化の薫る街の実現

市民生活の姿

優れた芸術・文化から小さな表現活動まで、多様な芸術・文化に触れる機会が充実し、芸術・文化を身近なものとして感じることができます。

市民・企業・活動団体・行政の協働で、市民の誰もが気軽に参加できるさまざまな文化活動がいたるところで行われており、まちが活気にあふれています。

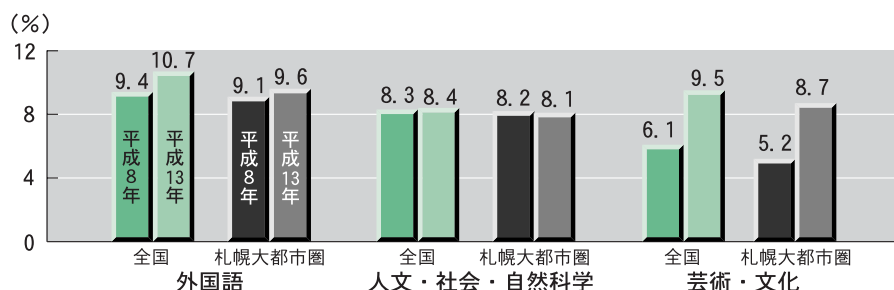
札幌の自然、歴史、伝統文化・文化遺産などが市民共有の財産として大切にされるとともに、地域に根ざした個性ゆたかな文化が育っています。

現状と課題

芸術・文化への関心の高まり

市民の関心は、心のゆたかさへ向けられてきており、その糧ともいえる芸術・文化は、都市としての魅力や個性を形づくる重要な要素の一つとなっています。このため、札幌のゆたかな自然環境や高度な都市機能を活かして、市民が多様な芸術・文化に触れ親しめる環境づくりを進めるとともに、まちづくりや集客交流につなげていくことが求められています。

●学習・研究の種類別行動者率

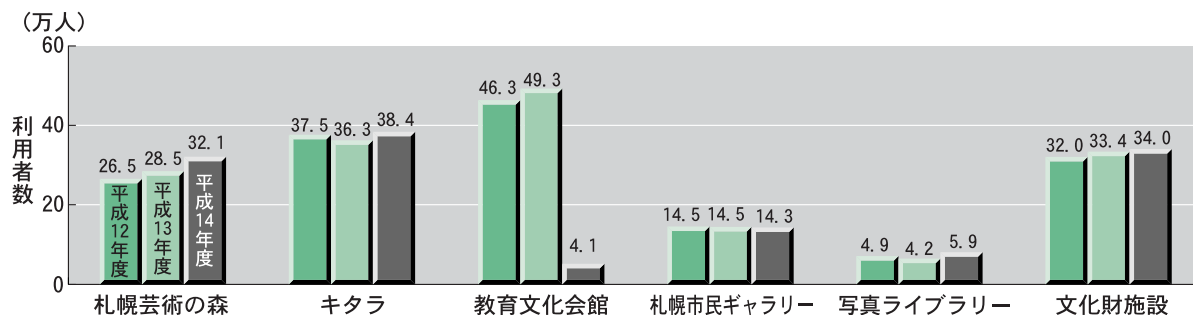


注:社会生活基本調査は、総務省統計局により5年ごとに実施されている。国民の生活時間の配分および自由時間等における主な活動についての調査である。札幌大都市圏は、札幌市と周辺の7市9町3村によって構成されるものである。
(資料)総務省「社会生活基本調査」

施設の充実と各種事業の展開

札幌芸術の森、札幌コンサートホール（キタラ）をはじめ、質の高い芸術・文化施設が充実しており、これらの施設を中心に各種芸術・文化事業が展開されています。今後さらに、札幌の都市個性として魅力を高めていくためには、優れた芸術・文化の鑑賞機会を一層充実するとともに、芸術・文化の担い手を育成し、札幌ならではの特色ある芸術・文化を育て国内外に発信していく必要があります。

●主要芸術・文化施設の利用状況

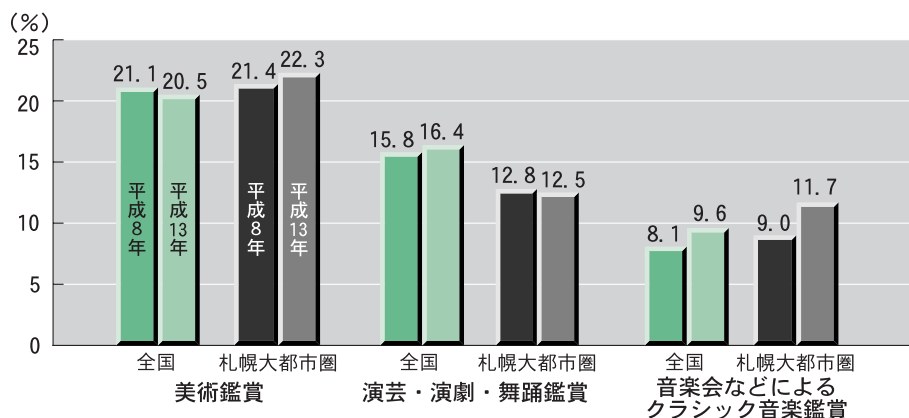


注:平成14年度の教育文化会館は、改修工事で閉館したため約1カ月間の利用人数となっている。
 (資料)札幌市

市民の主体的な活動を支援

市民自らがさまざまな文化活動を楽しみながら実践し、市民レベルの音楽、演劇の公演や絵画の展覧会などが市内各所で行われています。今後さらに、市民相互の連携や主体的な取り組みの機運を盛り上げるためには、それらの活動を支援するしくみづくりやネットワークづくりを進める必要があります。

●趣味・娯楽の種類別行動者率



(資料)総務省「社会生活基本調査」

伝統文化・文化遺産等をもとにした新たな文化の創造・発信

国際化の進展の中で都市の個性や魅力の重要性が増しており、札幌の自然、歴史、伝統文化・文化遺産などを大切にするとともに、北海道の先住民族文化に学び、これらを基礎に新たな文化を創造・発信していくことが重要になっています。

各主体の主な役割

市民

- 芸術・文化の鑑賞、創作・表現活動への参加
- 文化ボランティア活動への参加
- 伝統文化、先住民族文化の保存・継承と理解 など

企業等

- メセナ活動¹による芸術・文化の支援
- 創作・表現の場の提供、支援 など

NPO・活動団体等

- 芸術・文化に関する活動の情報交換とネットワーク化
- 文化ボランティア活動のリード
- 芸術・文化に関する活動の多様な場づくり など

教育機関・指導者

- 芸術・文化の振興を担う指導者や専門家の育成 など

行政

- 芸術・文化に関する活動の支援・活性化
- 芸術・文化に関する情報の発信
- 伝統文化、先住民族文化の継承支援
- 芸術・文化の振興による集客交流 など



¹メセナ活動 企業が芸術・文化活動に対し後援・資金援助を行うこと。

施策と事業

施策の基本方針

音楽芸術の中核施設である札幌コンサートホール（キタラ）の教育活動²をはじめ、国内外との交流や芸術・文化の振興を担う指導者や専門家の自由な創造活動などを通じて、世界都市さっぽろならではの優れた芸術・文化に親しめる環境を充実します。

さらに、市民が、まちのいたるところで多様な芸術・文化を楽しみながら実践し、表現・発信できる文化の薫るまちづくりを進めます。このため、誰もが気軽に参加できるさまざまな文化活動の振興に向けて、これらの活動に取り組んでいる市民やNPOの活動拠点などを支援します。

また、地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進するとともに、先住民族文化と交流し学ぶ機会をつくることで市民理解の促進を図ります。

重点戦略課題 ①

芸術・文化の薫る街の実現

施策 1 多様な芸術・文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

施策 2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興

施策 3 札幌の芸術・文化を担う人材の育成

施策 4 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

施策 1 多様な芸術・文化に親しみ、交流・発信する環境づくり

優れた芸術・文化からさまざまな文化活動まで、多様な芸術・文化に市民が親しめる環境を充実するとともに、国内外のアーティストと市民との交流を促進します。

また、市民が芸術・文化に関する活動を相互に連携して行えるよう、活動団体のネットワークづくりと情報発信を進め、併せて国内外との交流を促進します。

札幌の優れた芸術・文化を魅力的なまちづくりの要素として活用し、集客交流を促進します。

事業名	事業内容	事業費	備考
芸術文化による札幌の魅力創出事業	さっぽろ雪まつりなどに合わせて札幌の郷土芸能、大衆文化を紹介するイベントや、国内外のさまざまなジャンル（部門、種類）のアーティストが参加するイベントなど、芸術文化により札幌の魅力を創出する事業を行います。	10百万円	●観光イベントと連動した集客交流の促進

²札幌コンサートホール（キタラ）の教育活動 青少年を対象として、コンサートの鑑賞機会の提供のほか、ホール見学、出演者との交流、パイプオルガンの演奏やマナー講習などを行う活動。

事業名	事業内容	事業費	備考
アーティスト・イン・レジデンス事業費補助	国内外の芸術家が一定期間滞在し、創作活動などを通じて芸術家相互・地域との交流を深めるアーティスト・イン・レジデンス事業（札幌アーティスト・イン・レジデンス実行委員会）に対して事業費の補助を行います。	2百万円	●招へい芸術家によるワークショップ開催等
パシフィック・ミュージック・フェスティバル事業費補助等	世界の3大教育音楽祭として成長を続けているパシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）に対して、事業費の補助等による支援を行います。	588百万円	
札幌交響楽団運営費補助	広く市民に優れた音楽鑑賞機会を提供するなど、本市の芸術文化の振興に大きく寄与している札幌交響楽団に対して、運営費の補助を行います。	516百万円	
北海道舞台塾事業費負担	道民の舞台芸術活動への参加促進や舞台芸術を担う人材の育成、道内外の人・地域との広範なネットワークづくりを通じて、舞台芸術活動の活性化やすそ野の拡大を図る「北海道舞台塾」の経費の一部を負担します。	15百万円	●北海道劇場の整備に向けたソフト機能の先行整備
カルチャーナイト事業への協力	普段は夕方で閉館する官公庁や文化施設等を夜間開放し、市民がさまざまな文化に親しみ、体験する機会を提供するカルチャーナイト事業に対して、所管する施設等の夜間開放や広報などの協力を行います。	—	

施策 2 市民が自ら作り上げる文化活動の振興

誰もが気軽に参加できるさまざまな文化活動に取り組んでいる市民、NPO、ボランティアなどの活動と活動拠点の整備を支援するとともに、公共空間や既存施設の有効活用と活性化を図ることで練習の場と表現する場を提供します。

また、市民の主体的な活動を支援するしくみづくりを進めます。

事業名	事業内容	事業費	備考
芸術文化団体等情報発信事業	市内で芸術文化活動を行う文化団体の活動状況や民間施設を含む市内の活動施設の調査を行い、ホームページ上で紹介します。	8百万円	

事業名	事業内容	事業費	備考
舞台芸術創作活動支援事業	NPO等が既存スペースを借り受けて、演劇などの創作、発表の活動拠点を確保する場合、一定期間賃借料の一部を補助するとともに、地域に根ざした芸術文化を継続して育成できるしくみの検討などを行います。	10百万円	
文化活動練習会場学校開放事業	市内の音楽・演劇等のアマチュア文化活動団体に対して、小学校の多目的教室などを開放し、練習会場や創作の場として提供します。	53百万円	<ul style="list-style-type: none"> ●新規開放6校（清田小、手稲鉄北小ほか） ●学校開放校数 10校⇒16校
既存施設を活用したNPOとの協働による新しいコミュニティ拠点づくり事業【再掲】	地下鉄琴似駅構内にある「ターミナルプラザことパトス」をNPOによる運営に転換して、芸術文化公演や市民と各種活動団体のネットワーク化、まちづくり情報の集積発信事業などを展開します。	23百万円	

施策 3 札幌の芸術・文化を担う人材の育成

これからの時代を担う子どもや若者が、多様な芸術・文化に親しめる環境を充実するとともに、札幌の芸術・文化の担い手の育成を支援します。

また、さまざまな表現活動や芸術・文化体験の機会を充実し、子どもや若者の社会性をはぐくみ、可能性を伸ばす取り組みを進めます。

事業名	事業内容	事業費	備考
Kitaraファーストコンサート事業	札幌コンサートホール（キタラ）において、市内の小学校6年生を対象として、オーケストラ演奏を鑑賞・体験する機会を提供する事業を行います。	94百万円	●16年度：5日間、10公演、約16,000人が対象
芸術体験キッズプロジェクト事業	教育文化会館において子どもたちが大人と共に舞台芸術を学びその成果を発表する事業や、芸術の森において子どもたちが美術、工芸、音楽などのさまざまな芸術を楽しみながら体感する事業を行います。	10百万円	

施策 4 文化遺産の保存・活用と伝統文化、先住民族文化の継承

長い歴史を経て守り伝えられてきた地域の優れた自然、文化、史跡などの文化遺産の保存と活用を推進します。

また、地域に根ざした個性ゆたかな文化の振興を支援するとともに、自然との共生の中ではぐくまれてきた先住民族文化と交流し、さまざまな場面で学ぶ機会をつくることで市民理解の促進を図ります。

事業名	事業内容	事業費	備考
文化財施設整備事業	時計台や豊平館、旧永山武四郎邸などの文化財を良好な状態で保存・活用し後世に継承させていくため、適切な維持・管理、計画的な整備を行います。	151百万円	●市民や観光客が文化財に身近に親しむことができる環境づくり
都市景観重要建築物等の保全事業【再掲】	都市景観条例に基づき、指定重要建築物等の保存等のための技術的援助や経費の一部助成などの支援を行い、札幌の歴史や文化を物語る街並み景観の保全を市民等との協働により推進します。	10百万円	
大型動物化石発見に伴う総合調査事業	市内ではじめて確認された脊椎動物化石（海牛類）の発掘や当時の札幌の古環境に関する総合的な調査を行い、札幌における地史の変遷を明らかにし、世界に向けて情報を発信します。	32百万円	●市民と協働で発掘調査を行うほか、地質学、古生物学、年代測定学、微化石の分析などの関連諸科学を集結した総合調査
博物館建設構想推進事業	札幌の自然の成り立ちや人と自然のかかわりを総合的に探求する自然系総合博物館の建設構想を推進していくうえで、博物館活動センターを拠点としたソフト事業を展開します。	57百万円	●資料収集・整理保存、調査・研究、普及・交流（展示、体験学習会等）の活動を展開
文化資料室の移転	資料館の狭隘化に伴い、館内施設のうち文化資料室（事務室）、新札幌市史編集室、札幌の歴史展示室、郷土史相談室に関する機能を旧豊水小学校校舎に移転します。	153百万円	●17年度移転

事業名	事業内容	事業費	備考
歴史的公文書等 収集保存事業	歴史的資料として重要な価値を有する公文書や私文書などを収集・保存・公開する「公文書館」機能の整備に向けて、公文書の評価選別や市民が保有する歴史的資料の収集を行い、資料の分類整理などを進めます。	14百万円	
インカルシペ・ アイヌ民族文化祭	アイヌ民族の伝統文化を伝承・保存するとともに広く市民に紹介するため、民族音楽祭やフォーラムなどを継続して実施します。	4百万円	
伝統文化保存伝承 事業費補助	地域に根ざした伝統文化やアイヌ民族文化の保存伝承活動を行う団体（丘珠獅子舞保存会、アシリチェップノミ実行委員会）に対して、事業費の補助を行います。	4百万円	

成果指標

	現状値	目標値
主要芸術・文化施設（札幌芸術の森、札幌コンサートホール（ギター）、教育文化会館、札幌市民ギャラリー、写真ライブラリー、主要文化財施設）の利用者数	163万人 (H13)	190万人 (H18)
学習・研究の種類別行動者率（芸術・文化）	8.7% (H13)	9.5% (H18)
趣味・娯楽の種類別行動者率（演芸・演劇・舞踊鑑賞）	12.5% (H13)	16.4% (H18)